

4. ふれあいサロン「ほっとな〜る」 (室蘭市・中島商店会コンソーシアム) 〜多世代が訪れる商店街を目指し、室蘭工大や医師会等とのコラボレーション〜

■ 中島コンソーシアムの誕生

平成22年に丸井今井デパートが閉店したことで危機意識をもち、地元商店街が一丸となって活性化に向けた取組を進めるべく、5つの商店街による中島コンソーシアムが誕生した。街区の商店数は222店舗でそのうち212店舗が傘下の会員が占め、一体感のある商店街といえる。

平成24年に商店街活性化法の認定を受け、「コミュニティの場となる商店街」「多世代が訪れる商店街」を目指し、国の補助金などを活用しながら、これまで様々な事業を展開してきた。

■ フル稼働の「ふれあいサロンほっとな〜る」

活性化事業の大きな柱の一つが平成22年に空き店舗を活用してオープンした、「ふれあいサロンほっとな〜る」だ。



ビブリオバトルの様子

地域の方々が気軽に集い、交流し、共に地域を考えるスペースとなればと開設した。オープン当初から室蘭工大生との連携のもと、学生発のユニークなアイデア事業を展開。その一つが最近注目され始めてきている書評合戦「ビブリオバトル大会」だ。ついには、5カ国のバトラーが参加した世界大会まで開催するなど、本格的なイベントに発展した。



健康講座の様子

ほかにも、医師会や薬剤師会などと連携して定期的に「健康講座」や「お元気講座」を開催。参加者には室蘭工大開発の「介護ロボット」を試用してもらい、ここで得られたデータを研究にフィードバックするといった、まさに、地域が一体となった「健康づくり」が進められている。

また、多種多様な人々が講師となって行う「居酒屋塾コンソ」やコンサートなども開催しており、平成26年度の利用者数は、約14,000人のほり、多世代の方々が訪れやすい交流の拠点として着実にその機能を果たしてきた。

■ コミュニティを大事にした取組

コンソーシアムでは二月に1回、年金支給日に無料買い物バス「お元気号」を運行。これに併せて「健康講座」も開催し、一日7便で運行しており、利用者は一日300人と多い。来街者も丸井今井があったころと比べるとまだ少ないものの、若者が増え、減少にも確実に歯止めがかかってきているなど効果が見え始めてきている。空き店舗への出店もここ3年間で22店舗を数えた。

小野寺代表は、「サロンの名前のように、これからも『ほっとな〜る』商店街づくりに、派手さはなくとも、地道に一步ずつ前に進んでいきたい」と語っていた。

照会先
(運営主体等)

■中島商店会コンソーシアム
室蘭市中島町1丁目24-2 (0143-50-6611)
HP (<http://www.nakajima-s.com/>)